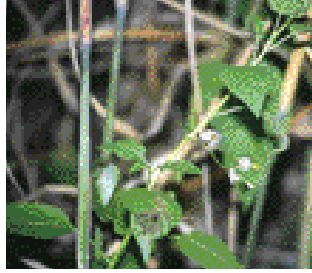


兵庫県では円山川水系でしか
大きな群落が見られない「ホンバイヌタデ」



平成4年、兵庫県下では円山川河川敷で初めて発見された「オオマルバノホロシ」



栗のイガに似ている「ミクリ」は、県下有数の
自生地が支流の六方川にある



多様な河川環境が現在も残っている円山川…、
そこは絶滅の危機にある稀少植物の宝庫である。

円山川の貴重な植物たち

円山川はみお筋と陸がゆるやかに連続し、川が川らしい姿をしており、近畿地方有数の多様な環境を有し続けています。特に全国でも減少傾向にある「原野」が残っていることは、特筆すべき点です。

「原野」とは川の氾濫によってもたらされた様々なタイプの草原の総称のこと。人の生活の場に近いくところなので、残っている例はほとんどありません。

円山川では豊岡市立野々玄武洞を始め、数カ所に「原野」が残されています。また、支流の出石川や六方川にも「原野」があります。中でも六方川は規模が大きく、絶滅が危惧される植物が集中的に生育しています。今回はそれら円山川流域に生息する稀少植物の一部を紹介します。

ヒメシロアサザ

この植物は本来ため池や水田に生育しますが、平成11年に円山川で見られた但馬新産の植物。日本海側

では2例目でした。兵庫県では神戸で絶滅し、淡路の数カ所にわずかに生育しているだけでしたが、下流のひのそ島や野上で行われた湿地の自然再生で現れました。誰も予想していなかったヒメシロアサザの出現で、再生手法の効果の高さと円山川のもつ潜在能力の高さが示されました。

ホンバイヌタデ

兵庫県では円山川水系でしか大きな群落は見られません。生育環境が大きな河川の原野に限られることがこの植物の特徴。豊岡盆地内の河川敷にかなり広く分布していることが確認されています。

ミクリ

池や川、水路などの水深の浅い水中に自生する多年草のミクリ。近畿地方では絶滅寸前ですが、なぜか兵庫県にだけは比較的多く残っています。直径2センチほどの実が集まった様子が、

栗のイガに似ていることから名前が付いています。円山川には多くありませんが、支流の谷山川、六方川などには県下有数の大きな群落があります。但馬ではほかに竹野川、佐津川、久斗川などでも見ることが出来ます。

オオマルバノホロシ

兵庫県では円山川水系のみに分布するナス科の植物。近畿地方ではこれまで琵琶湖水系でしか確認されておらず、平成4年に円山川河川敷で初めて発見されました。

このほかに円山川にはたくさんの原野性稀少植物が生息し、しかも極めて良好な状態で生育しています。環境破壊が進む現在、この植物の宝庫をいかに守っていくことが私たちに課せられた使命といえるでしょう。

協力：国土交通省豊岡河川国道事務所
写真提供：コウノトリ市民研究所

菅村定昌さん



平成11年に円山川水系で発見された但馬新産植物「ヒメシロアサザ」。日本海側では2例目。

2005 但馬“牛まつり”

8/21(日)

開催時間：10時～16時

造型物のコンテスト&パレード

場所：県立但馬牧場公園(美方郡温泉町丹土)

参加賞
10万円

但馬牛をイメージした造型物大集合！
最優秀賞30万円!!
あなたもステキな但馬牛を造ってみませんか！

参加者
募集中

おもしろイベント盛りだくさん!

但馬牛のファッションショー
但馬ビーフの特別料理コーナー
花嫁行列、子どもまつりパレード、牛絵画展、
ステージ演技、動物ふれあいコーナーなど



21日 酒まつり同時開催

問い合わせ先
温泉町役場企画観光課 TEL.0796-92-1131 <http://www.onsencho.com/>

但馬街道



七坂八峠

ななさかやとうげ

【浜坂町居組～鳥取県岩美町】

時代とともに改修され、
何度も姿を変えた七坂八峠。
「牛馬通れず」と言われた難所を
人々は一本松目指して歩いた。



浜坂町居組から鳥取県へと通じる七坂八峠は、日本海の雄大な姿を見おろす幾重にも曲がりくねった峠。旧道は現在の国道178号よりも海岸線に沿ったルートをはしり、その道筋は今も残っています。

前の由来からも、険しい山道だったことが想像できます。

最後の峠

を上りきつ

江戸時代は、「牛馬通れず」と言われるほどの難所でした。海岸線は山が張り出していて道路が整備しにくいことから、因幡国(鳥取県)へは、温泉町の蒲生峠越えの街道が本道とされてきたようです。

た国境には、一本松と呼ばれる大きな木がありました。峠を越える人々は、この大木を目標にして厳しい道のりを一歩ずつ歩いていったそうです。



(左)浜坂町役場庁舎の玄関に飾られた一本松の標本(右)在りし日の一本松の雄姿

七つ坂を上り、八つの峠を越える。峠の名



峠はつづら折りのカーブが続く

この一本松は海上からもよく見え、居組港に帰る船の目印にもなったりと地元の人々に愛されてきました。しかし、昭和55年頃から枝が枯れ始め、2年後には保存処置の効果もなく、伐採

この井戸は、仇討ち事件が起った際に斬った刀を洗った場所と伝えられ、地元の人々は「人斬り井戸」と呼び、その後一切使われなくなったそうです。明治の初めになると、山腹を切り開き新しい県道海岸線が開通。その後も時代と共に改修され、昭和45年に今の国道178号として生まれ変わり、

夏風物詩、イカ釣り漁の漁火の情景を楽しむことができます。また、峠には但馬海岸を一望できる公園が立地。公園内には、峠の情景を詠んだ浜坂町出身の前田純孝ら3人の歌碑が建っており、旅情あふれる憩いの場となっています。道は変われど、その眺めは今も昔も変わらない原風景が残る七坂八峠。昔の人もこの美しい景色を眺めながら、峠を越えていったのでしょ。



日本海マリーナ

ボート免許受講生募集!

お手持ちの免許をステップアップしませんか?

中古艇もあります

<http://www.nihonkaimarina.co.jp/>

豊岡市小島1228-2 TEL 0796-28-2526 毎週火曜定休日